

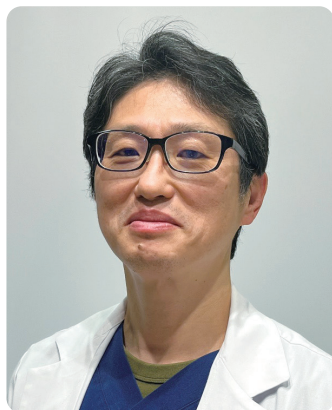
すこやか7

第236号
月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



がんセンター開設のお知らせ



消化器外科

原田 直樹 (はらだ なおき)

- 日本外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器外科学会
消化器がん外科治療認定医
- 日本がん治療認定医機構 認定医
- 日本胸部外科学会 認定医
- 日本腹部救急医学会 認定医



日本において、一生の間にがん罹患する危険性は男性が2人に1人、女性が3人に1人になると推計されており、高齢化がすすむ状況では、さらにがんによる死亡数が増加すると考えられています。

国の対策方針として、「がん医療の均てん化」が基本政策として掲げられており、全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術者の是正を図り、治療成績向上を目指しています。

また、診療を取り巻く環境も変化し、治療の進歩や多様化もすすんでいます。特に、近年、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの薬剤開発の進歩は著しく、遺伝子解析に応じた治療薬の選択や、特徴的で多種多様な副作用への対応なども重要となっています。

加えて、高度な診断治療技術はもとより、緩和的治療や精神的なケアなど、全人的な対応が求められています。

こういったことから、臓器別診療体制と並行し、組織横断的に集学的治療を実施する目的で「がん総

合診療センター」を開設しました。

センターでは、腫瘍を専門とする内科医、外科医、放射線科医、病理医、緩和医療担当の医師、看護師、薬剤師、その他複数の職種にわたる医療スタッフが腫瘍会議（カンサーボード）を設け、患者さんに合わせて最適な治療方針を提案することができます。

今後も高齢化の進む、三田、北摂地域において、中核病院の責務として、地域に密着し、それぞれのがん患者さんご家族にとって、より良い治療が提供できるように努めていきます。また、院内はもとより、近隣の医療機関からの相談にも迅速に対応するように、努めていきます。

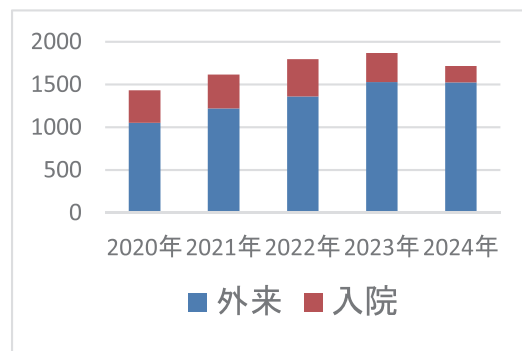
三田市民病院は、日本がん治療認定医機構認定研修施設に認定されています。また兵庫県のがん拠点病院に準ずる病院として、院内だけでなく、必要に応じ他施設とも連携をとりながらがん診療を行っています。

* (火)・(木) PM 要事前予約診

がんの薬物療法について

薬剤科 がん薬物療法認定薬剤師
井上徹雄

がんの薬物療法（いわゆる抗がん剤治療）は、手術・放射線治療と並び、がん治療の3本柱の一つです。新しい抗がん剤の発売や、新しい治療法の開発スピードは他の疾患に比べて速く、2024年度に新たに発売された医薬品のうち、約30%の品目ががんを対象とした医薬品でした。飲み薬のみの治療や点滴のみの治療、飲み薬と点滴を組み合わせた治療など、がんの種類や治療段階によってたくさんの治療方法があります。外来で抗がん剤治療を受けられる方が多く、仕事を継続しながらがんの治療を受けられる方は、ここ10年で約1.5倍に増えています。



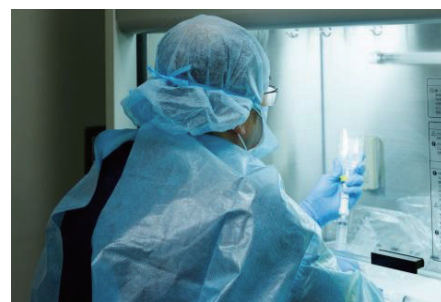
当院におけるがん薬物療法実施件数

支持療法

支持療法とは、抗がん剤治療による副作用の予防や軽減を目的とした治療のことです。近年の抗がん剤治療の副作用は、ひと昔前の抗がん剤の副作用のイメージであった吐き気・脱毛だけではなく、皮膚症状、高血圧、免疫関連の副作用など多種多様です。抗がん剤治療を継続するためには、これらの副作用をできるだけ抑える必要があります。支持療法には薬物療法、非薬物療法がありますが、患者さん自身が日常生活で行うセルフケアも重要です。

薬剤師の仕事

抗がん剤治療を受けられる方に、治療のスケジュールや起こりうる副作用、副作用が起こったときの対応などの説明を行っています。また、治療中も副作用で困っている方がいないか、お薬がきちんと飲んでいるかなども確認し、主治医や看護師と連携して対応しています。最近では、保険薬局とも連携し、安全な治療が継続できるよう努めています。その他にも、院内の抗がん剤治療レジメン（治療計画）の管理や、抗がん剤の無菌的な調製など幅広くがん薬物療法に関わっています。



抗がん剤治療や副作用についてお困りのことがありましたら、お気軽に薬剤師にご相談ください。



・・・糖尿病委員会より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

熱中症を予防するための水分補給方法について ～健康的な飲み物の選び方～

管理栄養士 澤井 悠李

7月に入り、猛暑が続いていますね。テレビなどで熱中症について耳にする機会が多いのではないのでしょうか？熱中症予防には、エアコン等で室内の温度を調整することや外出時には日傘を使用するなど『暑さを避けること』と『こまめな水分補給』が大切です。

栄養相談では『水分補給の方法を教えてください』や『健康的な飲み物の選び方を教えてください』との質問を頂きますので、今回は熱中症を予防するための水分補給方法についてお伝えします。

●水分補給方法について

こまめに水分を補給しましょう

- のどが渇く前から、水分を補給するようにしましょう。
特に高齢者は、のどの渇きを感じにくくなりますので、起床時、朝食、10時、昼食、15時、夕食、入浴前後、就寝時にコップ1杯（約180ml）の水分を補給するなど計画的に水分を補給することが大切です。
- 水分補給の目安量は食事以外に1.2L/日必要です。
- 激しい運動や大量に汗をかいた場合は塩分も補給しましょう。
（水分・塩分制限が必要な方は、かかりつけ医の指示に従ってください）



飲み物を上手に選びましょう

- 飲み物の種類によっては、糖質、塩分が多く含まれる物があり、摂りすぎると糖質、塩分の過剰摂取につながります。また、糖尿病のある方では血糖値に悪い影響を与えてしまいます。そのため、飲み物の栄養成分表示を確認する習慣をつけて清涼飲料水やスポーツドリンクの摂りすぎには注意しましょう。



飲み物一覧	食品名（※1）	規 格	エネルギー	角砂糖（※2）	食塩相当量
	リンゴジュース(果汁50%入)	500ml	237kcal	15個分	0g
	コーラ	500ml	237kcal	15個分	0g
	サイダー	500ml	211kcal	13個分	0g
	スポーツドリンク	500ml	106kcal	7個分	0.5g

※1 食品名、栄養成分は日本食品標準成分表2020年版（八訂）より引用

※2 飲み物のエネルギー量を角砂糖のエネルギー量に置き換えて表示しています。

※3 栄養成分はメーカー等によって異なります。

- ・アルコール飲料は利尿作用があり、水分補給になりません。
- ・暑さを避け、食事がとれている場合の水分補給には水や麦茶を選びましょう。

安心して「食べる喜び」を、さらに豊かに。嚥下外来を拡充!

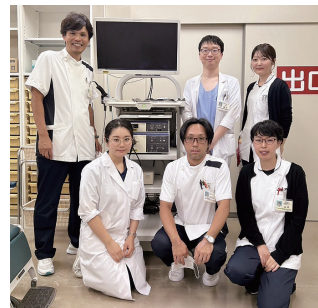
当院では、三田市および周辺地域の皆様が「食べる喜び」をより豊かにできるよう、**嚥下外来の診療体制を拡充**いたしました。在宅で飲み込みにお困りの方々へ、これまで以上に専門的な評価と個別指導を通じて、安心して食事ができる毎日をサポートします。

●こんなお悩みありませんか？

- 食事中にむせやすい
- 食後に声がガラガラする
- 飲み込みに時間がかかる
- 食事が食べにくくなった、体重が減った

●嚥下外来の特徴

耳鼻いんこう科医が嚥下内視鏡検査（VE）で詳細な評価を行い、その結果に基づいて**言語聴覚士**がリハビリ・食事指導を実施します。さらに、**管理栄養士**による栄養面のサポートも加え、チームで総合的に支援します。専門スタッフが連携して、ひとりひとりに合わせた支援を提供します。
※在宅で飲み込みにお困りの方は、まず近隣のかかりつけ医にご相談ください。



●診療案内

診療科：耳鼻いんこう科内
(嚥下外来として時間帯を設けます)
開 設：毎週月曜日
15:00～16:00 (1名様)
担当医師：鶴田Dr、小倉Dr

Introduction neighboring medical institutions

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



●円山医院 円山 アンナ 院長

三田ニュータウン初の診療所でした。当時お子さんだった方が40年を経て受診され、地域医療の継続性を実感しています。三田市民病院をはじめ、近隣病院に連携できることに感謝しています。

禁煙治療を受けることで、多くの癌や慢性疾患の予防と改善につながります。「睡眠時無呼吸」は高血圧、不整脈、糖尿病などに関連します。簡易検査をしたうえで、治療につなげます。

身体疾患を把握したうえで、適用があれば、漢方治療の対応が可能です。

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4-1-1

電 話：079-563-8641

診療科目：内科、糖尿病外来、禁煙外来

診療時間：〔午前〕9:00～12:00 〔午後〕16:00～18:00

休 診 日：水曜日・日曜日・祝日、火・木・土曜日の午後

ホームページ：http://www.maruyamaiin.jp/

(「三田市 円山医院」で検索してください)



診療時間：〔午前〕9:00～12:00 〔午後〕16:00～18:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	×	○	○	○
午後	○	×	×	×	○	×

編集後記

暑い日々が続きますが、熱中症予防にこまめな水分補給をしていただき冷房などを活かしてこの暑さを乗り切ってください。

■連絡先：市民病院総務課 (TEL 565-8605)

すこやか(第236号)
令和7年8月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/